

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 棚柱が転倒、脱落するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・指定の位置に厚さ30mm×105mm以上の下地材を必ず取付けてください。(柱・間柱に固定する場合は不要です。)
 - ・下地材には虫食い、くされなどのない物を使用してください。
 - ・下地材は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。
 - ・リフォームなどの場合で、下地材が石工ボードなどで確認できない場合は、石工ボードをはがして柱の位置を確認してください。
- 専用の棚、部品以外は使用しないでください。
- 必ず指定の位置で固定してください。
- 取付け中、仮置きとして重いものを載せないでください。
- 棚柱の固定ピッチは910mm以内で納めてください。
- 樹脂棚板と鉄芯を切断後、必ず所定の位置に鉄芯を挿入してください。樹脂棚板が脱落するおそれがあります。

■取付け上のお願い

- 収納の荷重が壁面へかかることを考慮し、下地の補強をしてください。(棚板の耐荷重は8.5kg/段、パイプの耐荷重は17kg/段です。)
- 下地材は、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 湿気がこもる外壁裏への設置、多湿の個所への設置、コンクリートやモルタルへの設置はしないでください。基材のソリ・ねじれ・腐食の原因となります。
- 運搬・加工の際は、キズ付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 棚柱を壁面に固定する際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を調整してください。棚柱の取付け位置がズれていると、棚板がガタツク場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用しますと、部品・部材の脱落や垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 熱を発するもの(家庭用電化製品など)は収納付近に取付けたり、収納内部に入れたりしないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを棚柱やブラケットに張らないでください。はがす際に、表面の塗装がはがれるおそれがあります。

■クリーニング時のお願い

- ホコリやゴミは乾いたきれいな布で払い落してください。ひどい汚れ、又は落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めてかたく絞ったぞうきんで拭き取ってください。汚れがひどい場合でも、溶剤(シンナー、ベンジン)やクレンザーなどは使用しないでください。

■部材・部品一覧表

●棚柱端部用セット

名称	棚柱(端部用)L=1820	皿タッピンねじφ3.3×50	棚柱(端部用)上下キャップ
図			
員数	2	24	4

●棚柱中央用セット

名称	棚柱(中央用)L=1820	皿タッピンねじφ3.3×50	棚柱(中央用)上下キャップ
図			
員数	1	12	2

●棚板セットW900 5枚入

名称	棚板 L=904	鉄芯 L=904
図		
員数	5	10

●棚板セットW900 1枚入

名称	棚板 L=904	鉄芯 L=904
図		
員数	1	2

●ブラケットセット 5セット入

名称	棚板固定用ブラケット	棚板固定金具
図		
員数	10	20

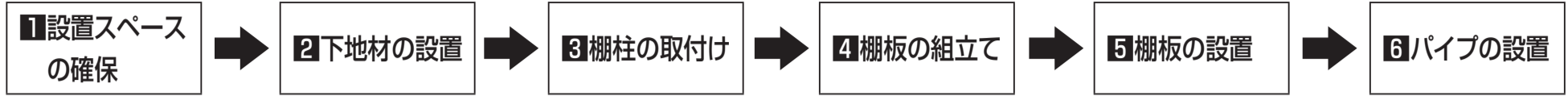
●ブラケットセット 1セット入

名称	棚板固定用ブラケット	棚板固定金具
図		
員数	2	4

●パイプセット

名称	パイプ	パイプ固定用ブラケット	パイプ固定金具	パイプ用エンドキャップ	ブラケット抜け防止金具(パイプ用)
図					
員数	1	2	2	2	2

■取付けの流れ



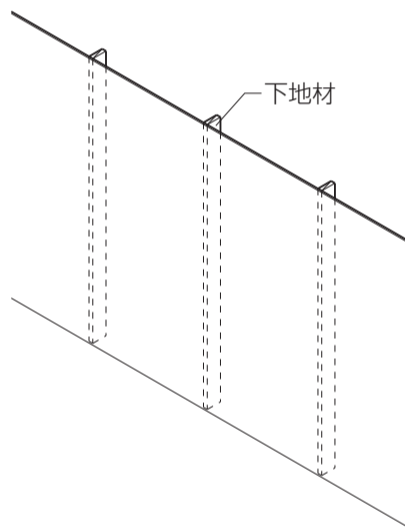
■取付け順序

1 設置スペースの確保

- 収納の内部に納める場合は、設置スペースを作ってください。

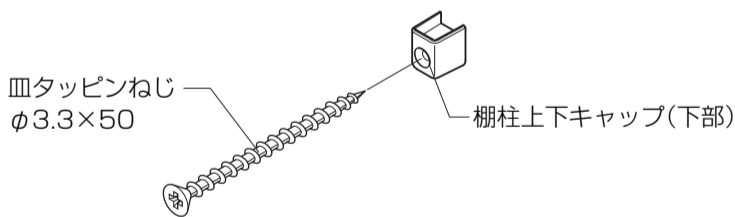
2 下地材の設置

- 据付け場所を確認し、所定の壁面(躯体)に下地材を設置します。(躯体に直接、棚柱を固定する場合は下地材は不要です。)

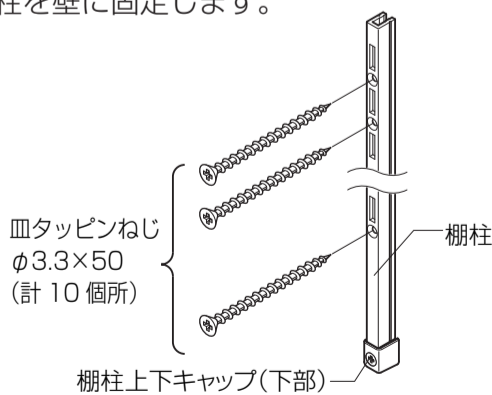


3 棚柱の取付け

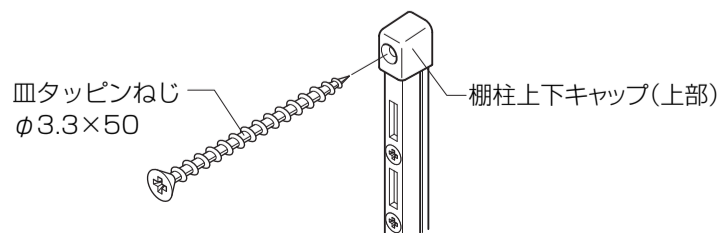
- ① 棚柱上下キャップ(下部)を壁に固定します。



- ② 棚柱を壁に固定します。



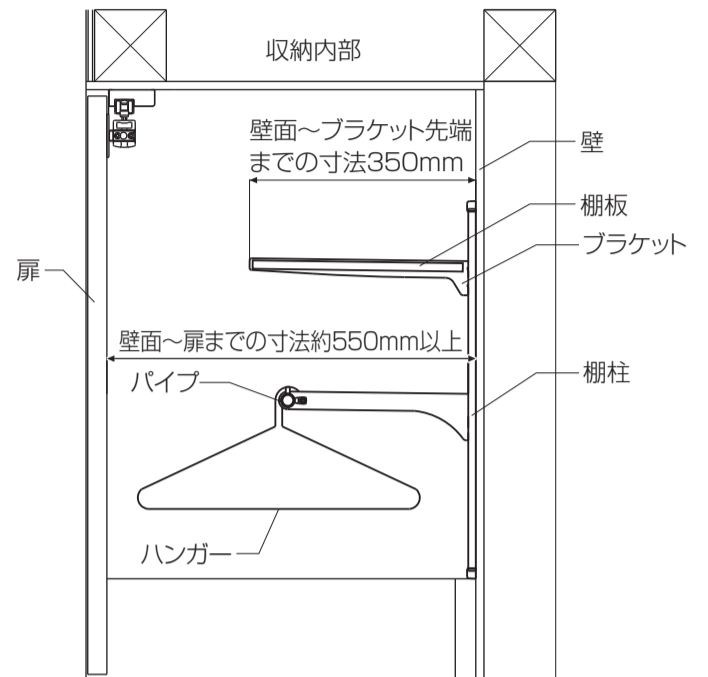
- ③ 棚柱上下キャップ(上部)を壁に固定します。



■取付け詳細

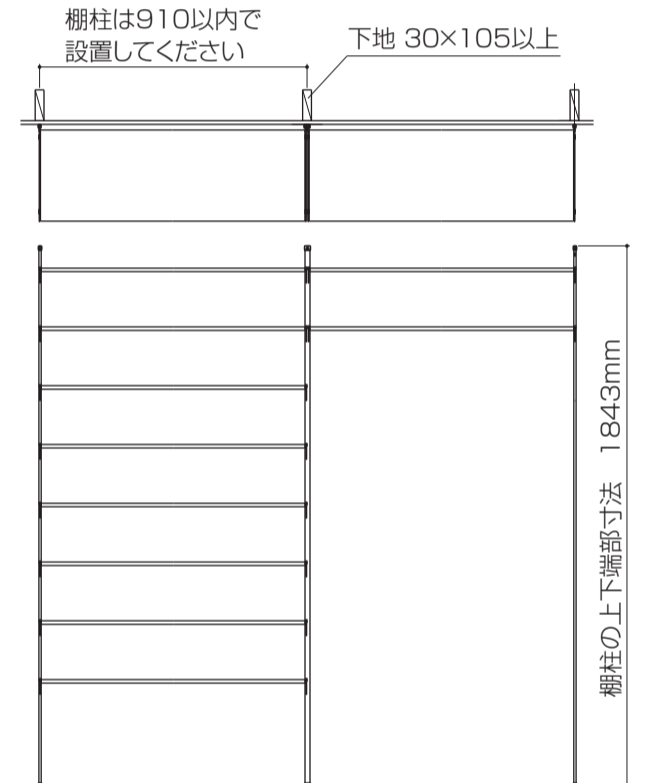
1 設置スペースの確保

- 扉のある収納内部にすっきり棚を納める場合は、あらかじめ棚板、パイプが納まる寸法(ハンガーが納まることを想定した)を考慮した上で設置スペースを確保してください。



2 下地材の設置

- 棚柱芯々寸法は910mm以内となりますので、これを考慮して下地材を設置してください。



▲ 注意

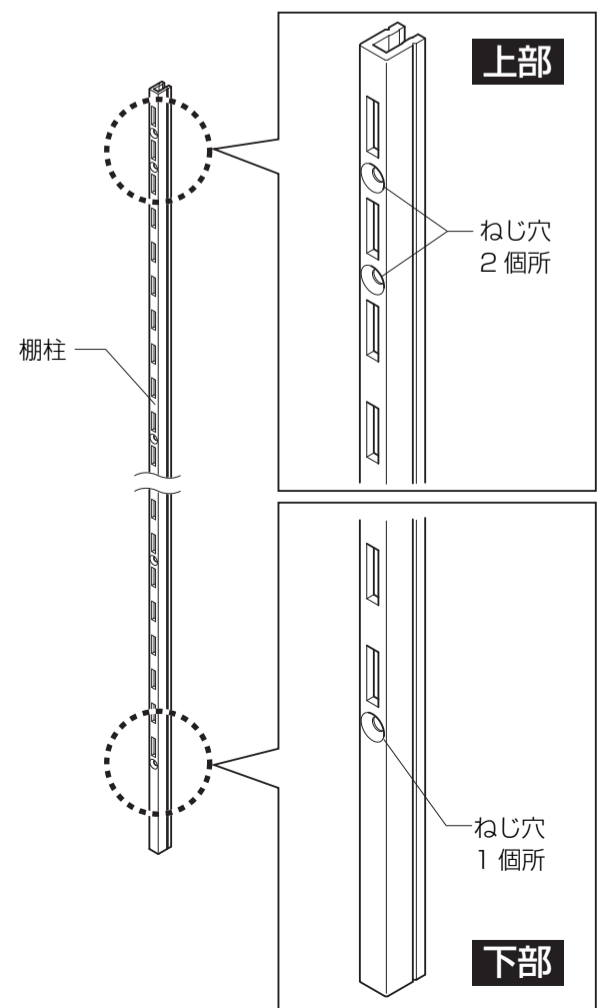
- 指定の位置に厚さ 30mm × 105mm 以上の下地材を、必ず取付けてください。(柱・間柱に固定する場合は不要です。)
- 棚柱の固定ピッチは 910mm 以内で納めてください。

3 棚柱の取付け

- 棚柱の上下を確認してください。
- 棚柱が垂直に取付いているかを水準器で確認しながら、壁に固定してください。
- 棚柱にガタツキがないことを確認してください。

▲ 注意

- 棚柱の固定ピッチは 910mm 以内で納めてください。



■取付け順序

4 棚板の組立て

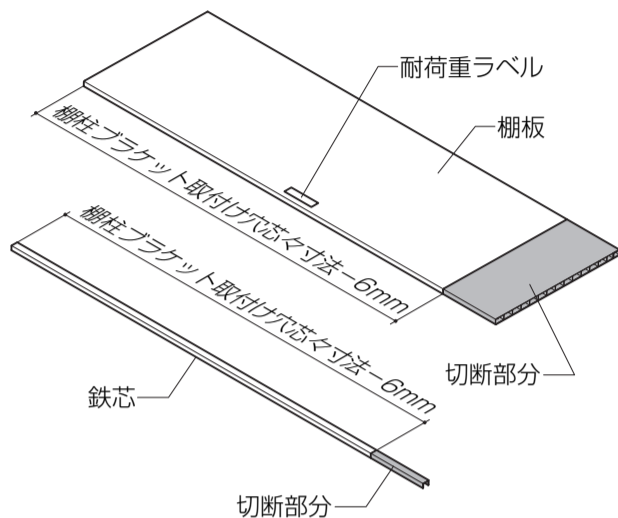
※必ず、以下の流れに沿って棚板固定用ブラケットを取付けてください。

順番を誤ると受け金具が曲がったり、棚板が組立たなくなる可能性があります。

1 棚板、鉄芯の切断

●棚板、鉄芯を切断します。

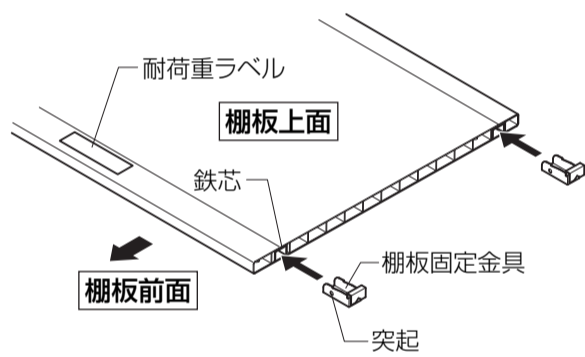
※鉄芯をカットした際にバリが発生した場合は、ヤスリなどで削ってバリをなくしてください。



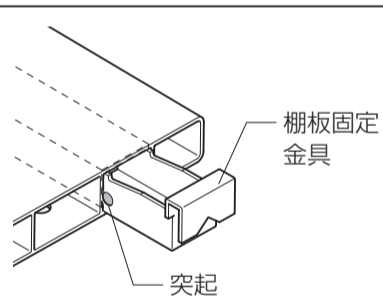
※耐荷重ラベルは棚板のW幅の中心に張付けてあります。棚板をカットする際は、すべての棚板を同じ方向からカットし、ラベルの張付け位置をあわせてください。

2 棚板固定金具の仮固定

①棚板に鉄芯を挿入し棚板固定金具を差込み仮固定します。

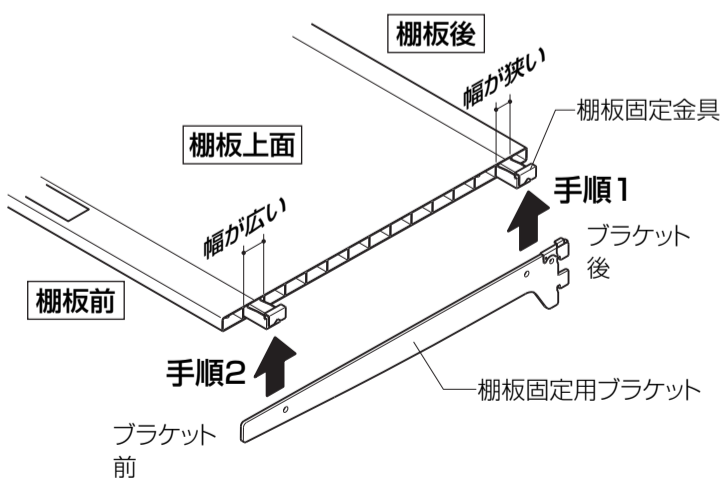


※棚板固定金具を差し込む際は、突起の手前で止めてください。(ブラケットを取付けてから、突起部を差込みます。)



3 棚板固定用ブラケットの取付け

①棚板固定ブラケットを後→前の順番で棚板固定金具に差込んで取付けてください。



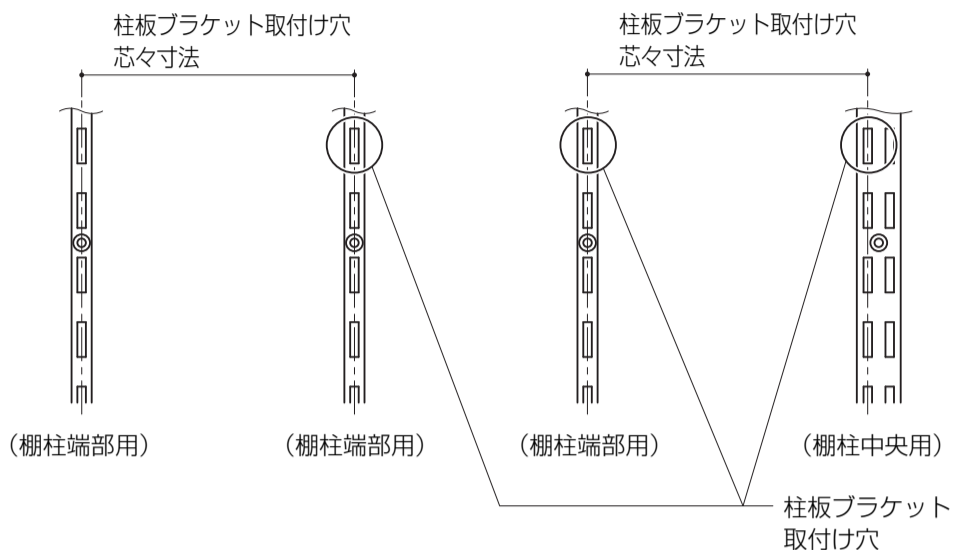
■取付け詳細

4 棚板の組立て

1 棚板、鉄芯の切断

■棚板、鉄芯の切断寸法について

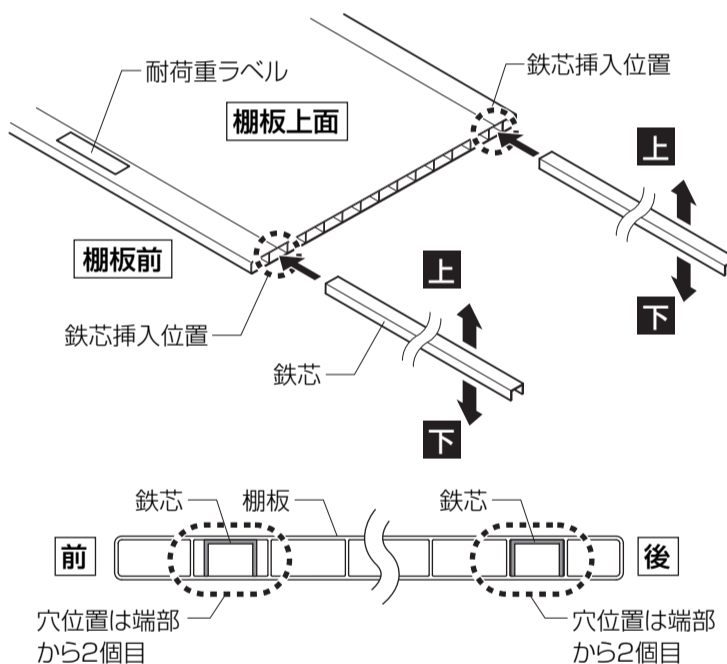
●棚板・鉄芯切断寸法=棚柱ブラケット取付け穴芯々寸法-6mm



※棚柱ブラケット取付け穴芯々寸法が910mmの場合は、棚板・鉄芯のWカットは不要となります。

2 棚板固定金具の仮固定

●棚板の前後、上下を確認しながら、鉄芯を○の位置に図の向きで挿入します。



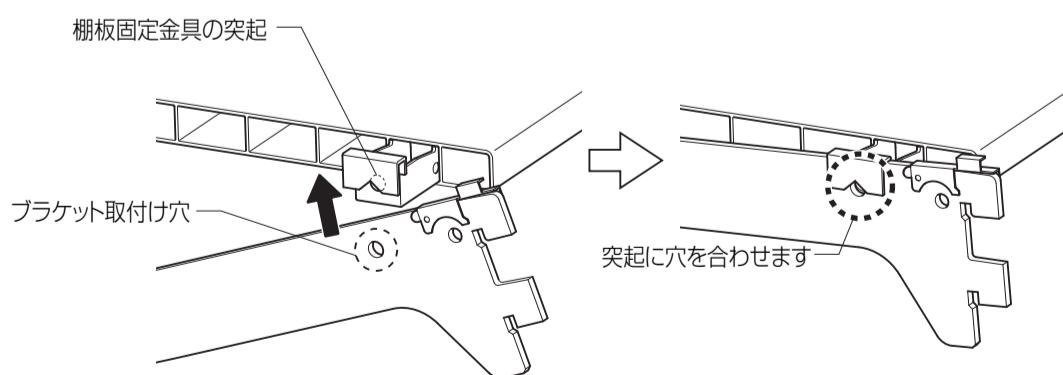
▲注意

●樹脂棚板と鉄芯を切断後、必ず所定の位置に鉄芯を挿入してください。樹脂棚板が脱落するおそれがあります。

■(手順1) 棚板固定用ブラケットの取付け詳細

まずは棚板の後ろ部分から固定してください。

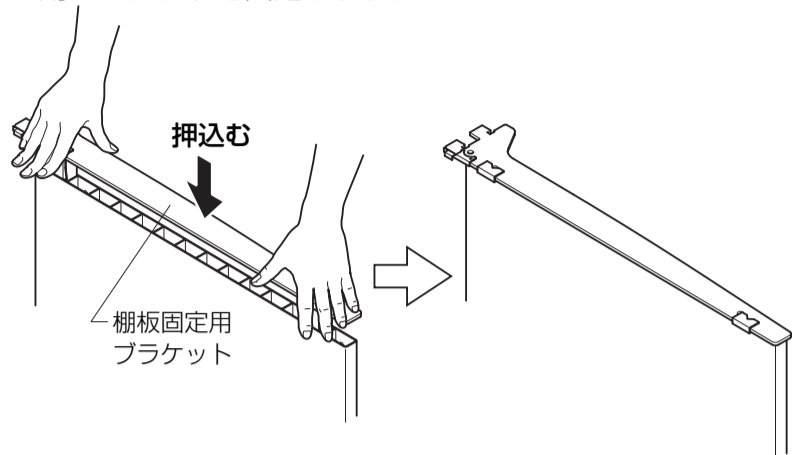
棚板後



●棚板固定金具の突起部にブラケット取付け穴を合わせて棚板固定用ブラケットを差込みます。

■取付け順序

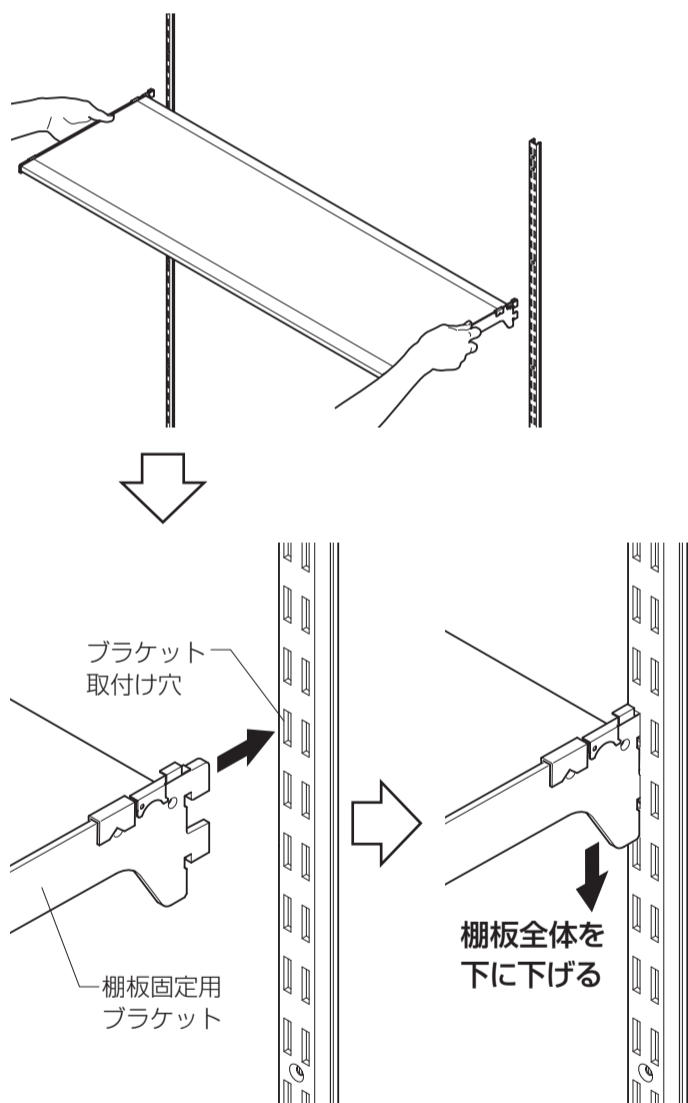
- ②棚板を立て、棚板固定用ブラケット全体を上から両手で押し、鉄芯に棚板固定金具を最後まで挿入して棚板固定用ブラケットを固定します。



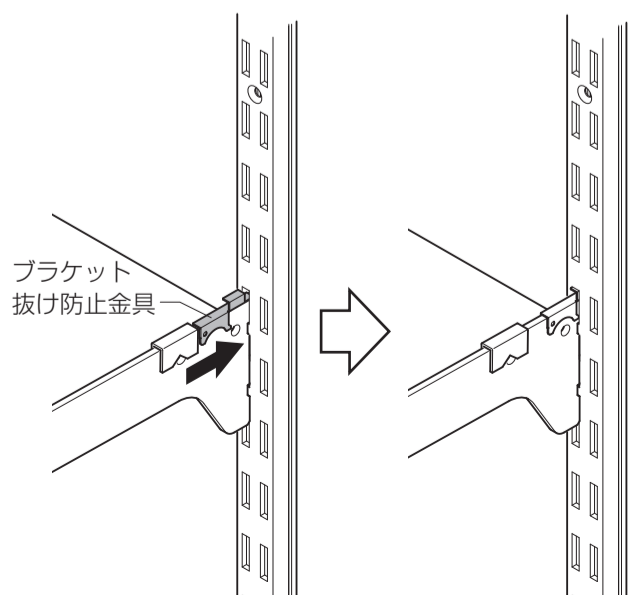
※片側が終わったら、反対側も同じように取付けてください。
(②～③を繰り返す)

⑤棚板の設置

- ①棚柱のブラケット取付け穴に両端の棚板固定用ブラケットを差込んで固定します。



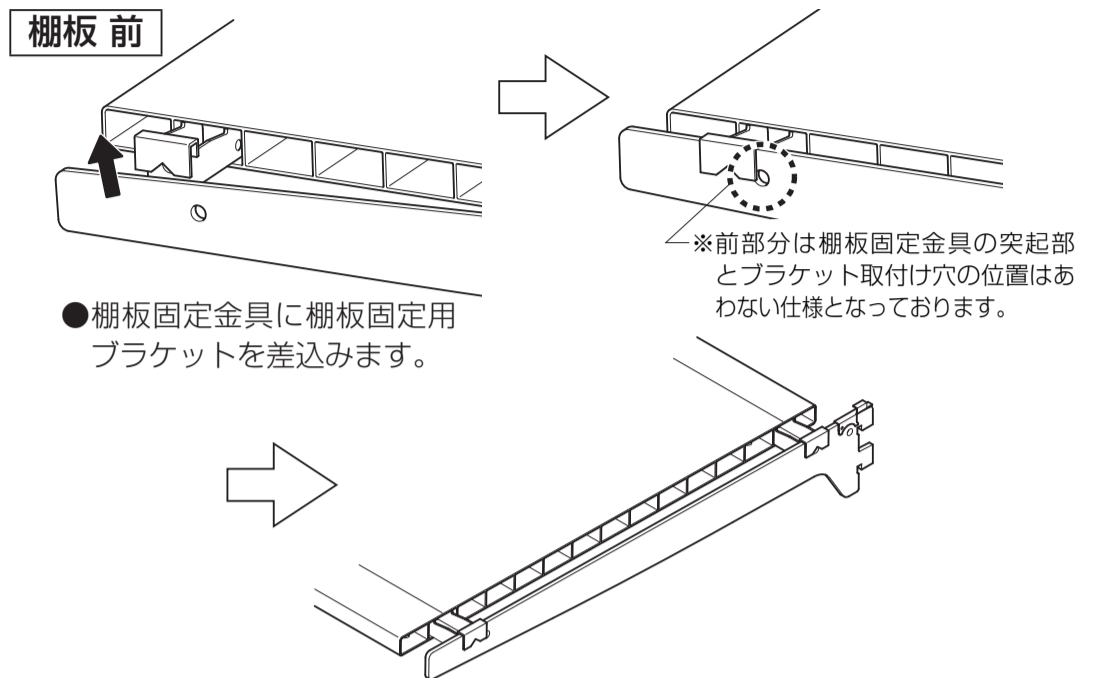
- ②ブラケット抜け防止金具を固定します。



■取付け詳細

■(手順2) 棚板固定用ブラケットの取付け詳細

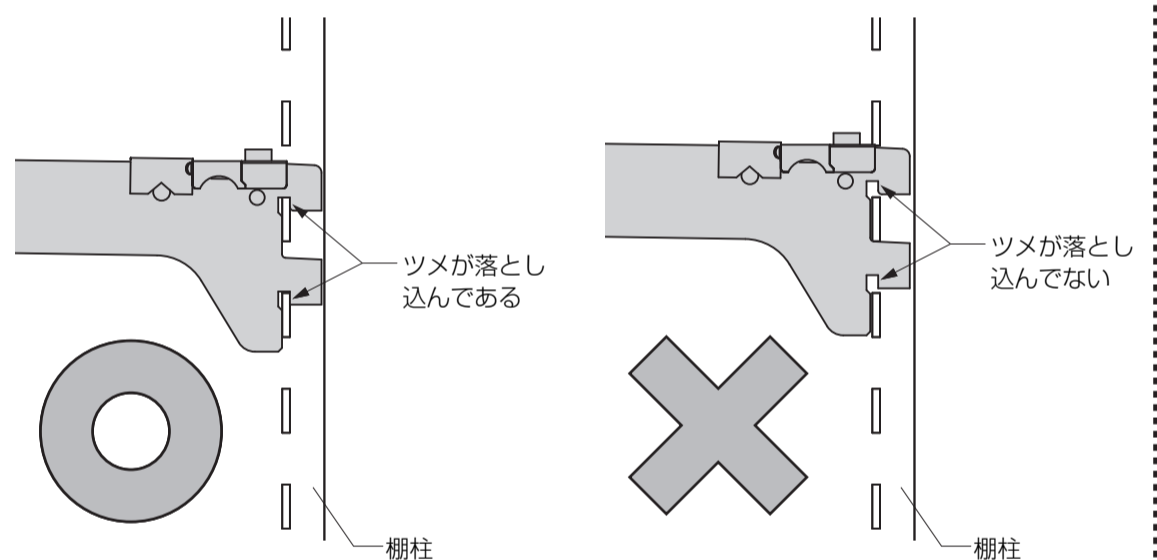
次に棚板の前部分を固定してください。



⑤棚板の設置

・【棚柱に棚板固定用ブラケットを固定するときのお願い】

- ※必ず、両端の棚板固定用ブラケットが同じ高さになるように設置してください。
※棚柱のブラケット取付け穴に棚板固定用ブラケットのツメを落とし込んでください。

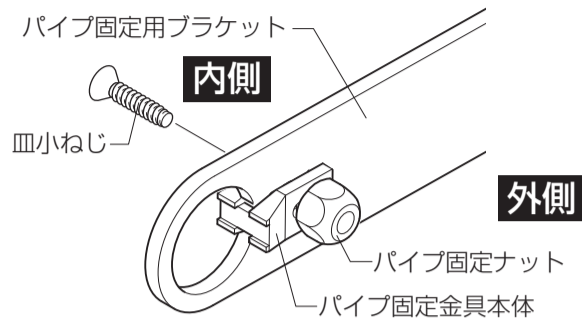


- ※ブラケット抜け防止金具を固定した後、棚板固定用ブラケットが抜けないことを確認してください。
又、ブラケット抜け防止金具が外れた場合は、ブラケットにはめ直してください。

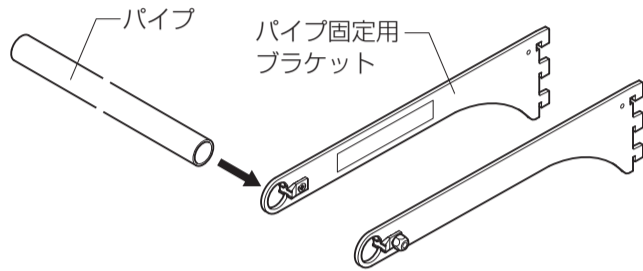
■取付け順序

⑥パイプの設置

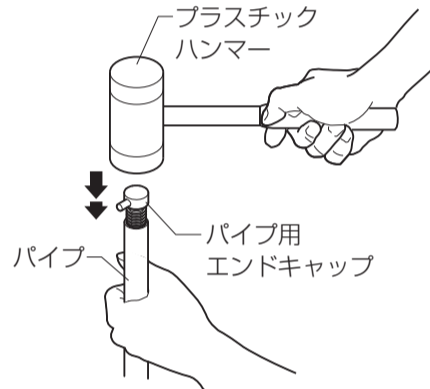
①パイプ固定用ブラケットにパイプ固定金具を仮固定します。
※パイプ固定金具の取付けねじは、ゆるめた状態で仮止めしてください。



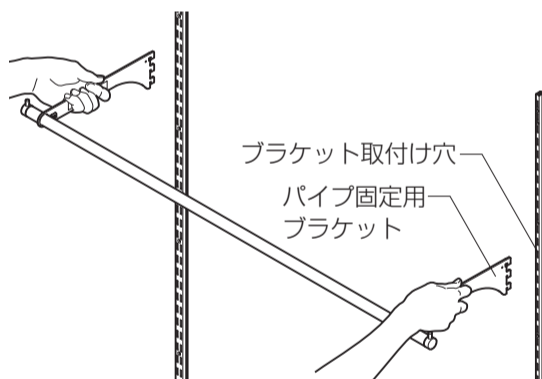
②パイプ固定用ブラケットにパイプを挿入します。



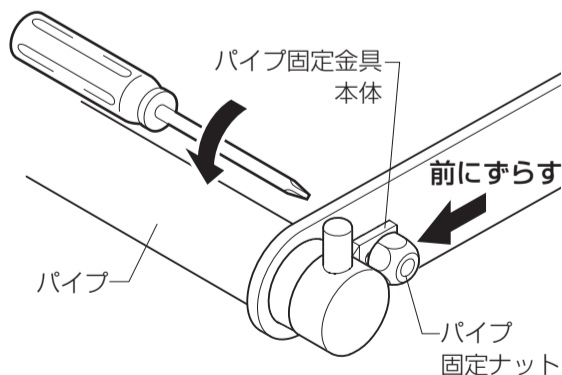
③パイプの両端部に、パイプ用エンドキャップを取付けます。



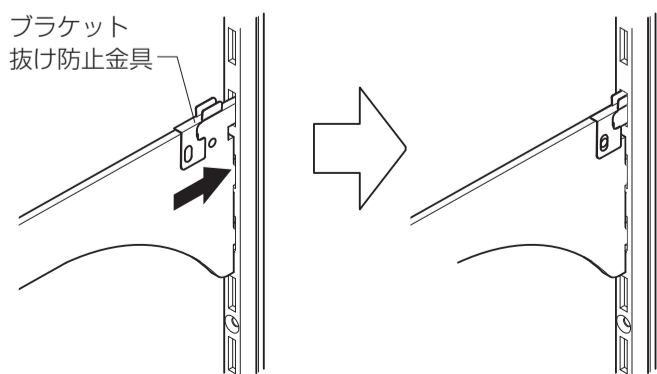
④棚柱のブラケット取付け穴に両側のパイプ固定用ブラケットを差込んで固定します。



⑤パイプの位置(左右)を決めたら、パイプ固定金具を手前にずらしパイプに押しあて、パイプ固定ナットを手で押さえながら、ドライバーでねじを締めてパイプを固定します。



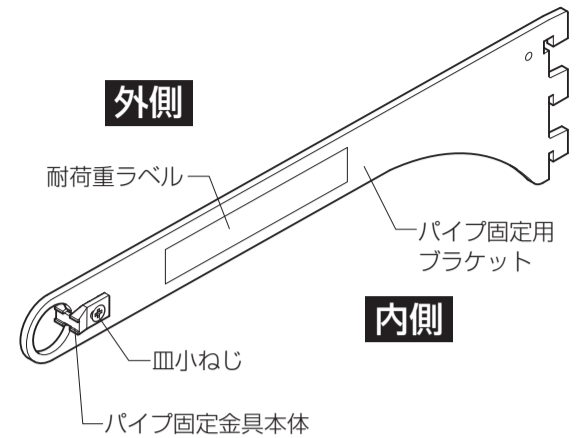
⑥ブラケット抜け防止金具を取付けます。



■取付け詳細

⑥パイプの設置

●パイプ固定用ブラケット(1本)には耐荷重ラベルが張付けてあります。
ラベルが内側にくるように、パイプ固定金具を仮固定してください。



・【パイプを切断する場合のお願い】

※パイプを切断する場合は、必ずパイプの切断面のバリを取除いてください。バリが残っていると、パイプ用エンドキャップが取付かない場合があります。
又、パイプの切断は、パイプ用エンドキャップを取付ける前に行ってください。

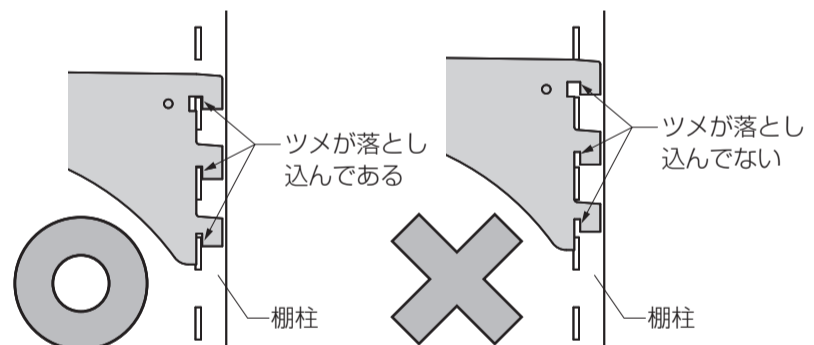


・【パイプの先端にパイプ用エンドキャップを取付ける場合のお願い】

※パイプの先端にパイプ用エンドキャップを取付ける際、強く叩き込むとキャップが割れるおそれがあります。軽い力で数回に分けて、たたき込んでください。

・【棚柱にパイプ固定用ブラケットを固定するときのお願い】

※必ず、両側のパイプ固定用ブラケットが同じ高さになるように設置してください。
※棚柱のブラケット取付け穴にパイプ固定用ブラケットのツメを落とし込んでください。



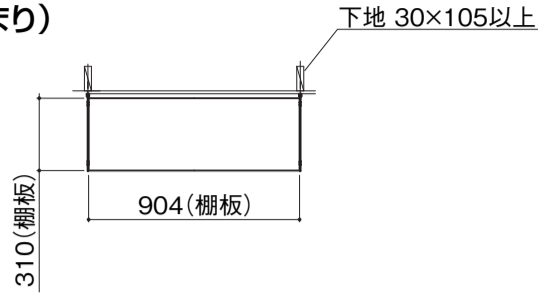
※パイプ固定金具でパイプを固定した後、パイプが動かないことを確認してください。

※ブラケット抜け防止金具を固定した後、パイプ固定用ブラケットが抜けないことを確認してください。

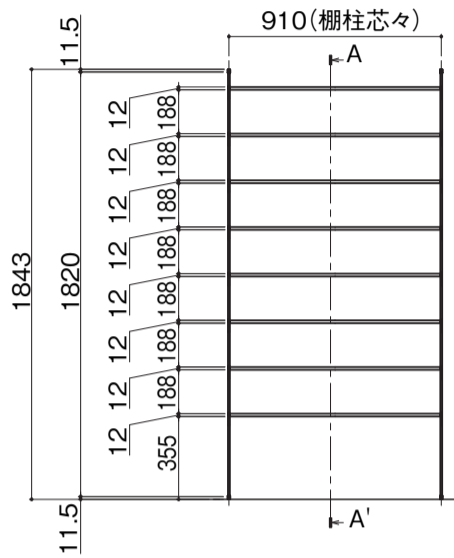
■納まり図

■幅3尺(棚板納まり)

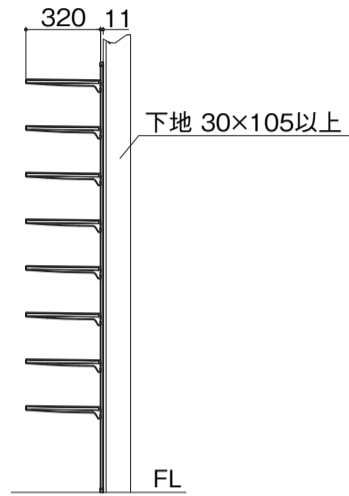
●上面図



●正面図



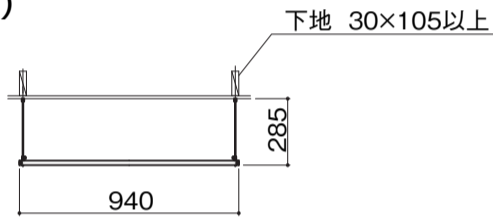
●縦断面図(A-A')



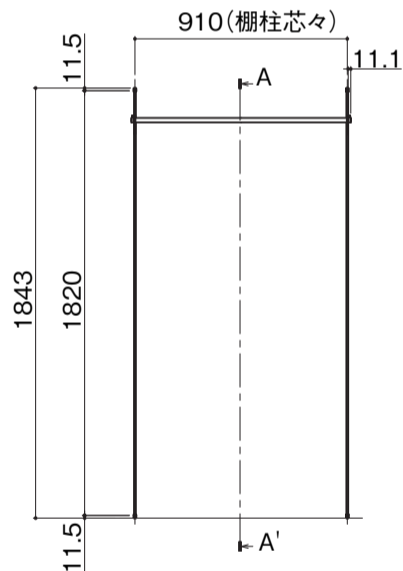
- ※1. 棚板の高さは任意の位置に取付け可能です。(取付けピッチは25mmとなります。)
- ※2. 棚板は現場の納まりに合わせてカットして納めてください。

■幅3尺(パイプ納まり)

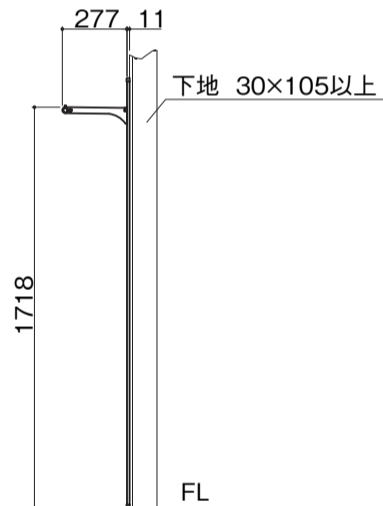
●上面図



●正面図



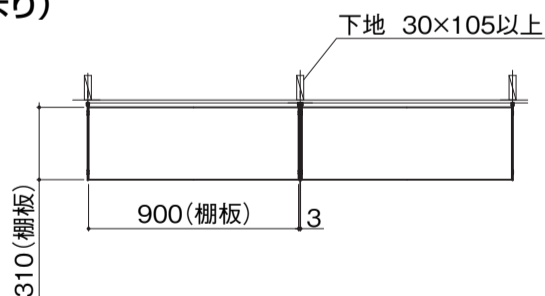
●縦断面図(A-A')



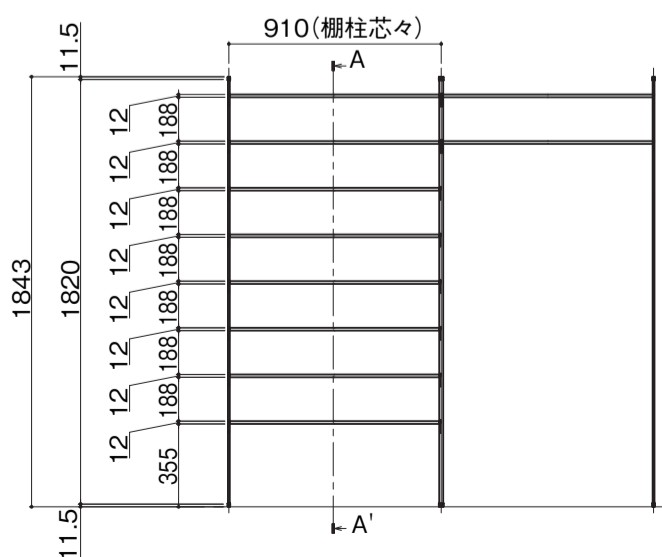
- ※1. 扉のある収納内部に納める場合は、パイプにハンガーを掛ける事を考慮し、扉の裏面から550mm以上の奥行きを確保してください。
- ※2. パイプの高さは任意の位置に取付け可能です。(取付けピッチは25mmとなります。)
- ※3. パイプの幅方向の設置位置は、棚柱の位置に合わせてパイプを移動させ調整した上で、パイプ固定金具で固定してください。

■幅6尺(棚板納まり)

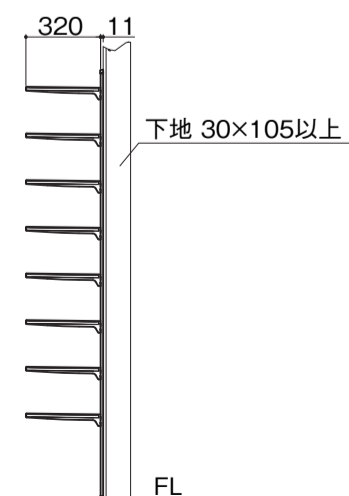
●上面図



●正面図



●縦断面図(A-A')



- ※1. 棚板の高さは任意の位置に取付け可能です。(取付けピッチは25mmとなります。)
- ※2. 棚板は現場の納まりに合わせてカットして納めてください。